慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	中級漢字教材と中級総合教科書の漢字教材および初中級読解教材の漢字語彙調査 : 科目間の漢字語彙の整理のために
Sub Title	
Author	池田, 幸弘(Ikeda, Yukihiro)
Publisher	慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター
Publication year	2023
Jtitle	日本語と日本語教育 No.51 (2023. 3) ,p.81- 95
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	調査報告
Genre	Departmental Bulletin Paper
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00189695-20230300-0081

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学　日本語・日本文化教育センター紀要
『日本語と日本語教育』51：81–95（2023.3）

中級漢字教材と中級総合教科書の漢字教材および初中級読解教材の漢字語彙調査

―科目間の漢字語彙の整理のために―

池　田　幸　弘

1. はじめに

日本語教育機関によって日本語教育にもさまざまな形がある。総合教科書を用いて、それに沿って文型や会話、語彙、漢字の学習を進めていく方法や、総合教科書を用いずに、技能別に科目を設置し、学習者が自分の各技能の学習段階に合わせて各科目を履修するという方法、または、一定の科目は総合教科書を用いた科目を履修しつつ、それに各学習者の必要に応じて技能別の科目を加えて履修し、学習を進めていくという方法もあるだろう。

総合教科書に沿って学習を進める場合、語彙や漢字の学習は主要教科書で学習される内容に合わせて学習を進めることができるが、技能別の科目で履修科目を構成する場合、また、総合教科書を用いた科目に技能別の科目を加えて履修科目を構成する場合はそのようにはならないことも想定される。この場合、例えば漢字の科目の授業の際に、科目間で共通して学習される漢字や語を整理して、どの科目の学習のどの段階でそれらが学習されるかを学習者に提示することができれば、語彙の面から漢字の科目が複数の科目をつなげることができ、語や漢字の記憶の強化にもつながり、より良い日本語教育につなげることができるのではないかと考えた。

そこで、本稿では、各科目の教科書所収の漢字語彙の整理のために、慶應義塾大学別科・日本語研修課程の技能別科目、表記法 5 で使用している教科書所収の語が他の科目で学習される語とどの程度重なりがあるかを調べる（筆者は 2022 年度秋学期に慶應義塾大学別科・日本語研修課程の技能別科目、表記法 5 と文章講読 5 を担当した）。また、表記法 5 の教科書所収の語と共通して取り上げられていない語についても、その語に表記法 5 の授業で学習される漢字が含まれていれば、表記法 5 の授業で教科書の語に加えてそれらの語を提示することも可能であろう。したがって、これについても調査を行いたい。なお、池田（2020）は複数の漢字教材の比較の中で、初級において漢字教材と総合教科書を併用して学習を進める場合に、両者で学習する語がどれほど共通していて、学習者は総合教科書で学習する語彙に加えて、どれほどの語を漢字教材で学習することになるか調査している。

以上から、調査は表記法 5 で使用している教科書と以下の 2 つの教科書を対象に行う。一つは総合教科書を用いた、複数の科目がセットになったクラス（別科・日本語研修課程の特化コース 5AP および 5BP）の教科書である。もう一つは技能別科目、文章講読 5 で使用している教科書である。

2. 調査

2-1 調査方法

調査の進め方は以下のとおりである。まず、教科書については、表記法 5 では『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』を使用している。特化コース 5AP および 5BP で用いられている総合教科書は『中級日本語（上）』（東京外国語大学留学生日本語教育センター）である。文章講読 5 の教科書については、2022 年度秋学期は『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』を用いた。以下、それぞれについて調査の進め方を述べる。

2-1-1　特化コース 5AP、5BP の教科書の調査方法

『中級日本語（上)』については、関連漢字教材『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の第Ⅱ部中級漢字の 32 頁から 38 頁までの No.1 から 14（『中級日本語(上)』第 1 課から第 11 課までの範囲[1]）を調査の対象とし、同範囲に提示されている 202 語（211 語から重複の 9 語を除いたもの）について、表記法 5 の教科書でそれらの語が取り上げられているか調査し[2]、以下のそれぞれを得る。

得るものは以下、1)『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の語で、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』にあるもの、2)『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の語で、その語の一部が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』にあるもの、3)『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の語で、その語の一部が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』所収の語の一部と共通しているもの、4)『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の語で、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』にはないが、語の一部または全部の漢字が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』で取り上げられているもの、5）以上 1）から 4）のいずれでもないものの 5 つである。

以上の 5 つを得た後に、1）から 4）について表記法 5 で学習する範囲のものか、表記法 6[3] で学習する範囲のものか、同教科書の 26 課から 32 課で学習する範囲のものか、整理し、それぞれの語の数を得る[4]。

2-1-2　技能別科目文章講読 5 の教科書の調査方法

『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』については、教科書の第 1 課から 12 課までの本文中にある漢字を含む語を抽出し、重複を整理してから、得られた語について『新選国語辞典第十版』で見出し語（追い込み見出しを含む）として取り上げられている語の形に整理して、リスト化する。次に、それらの語について、表記法 5 の教科書でその語が取り上げられているか調査し、以下のそれぞれを得る。

得るものは、以下、1)『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ

教材』の語で、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』にあるもの、2）『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』の語で、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』にはないが、その語に含まれる全部または一部の漢字が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で学習されるものの 2 つである。

以上の 2 つを得た後に、1）および 2）について、『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』と同様に、表記法 5 で学習する範囲のものか、表記法 6 で学習する範囲のものか、表記法 6 より後の範囲で学習するものか、整理し、それぞれの語の数を得る。

2-2　調査結果

2-2-1　特化コース 5AP、5BP の教科書の調査結果

以下に、『中級日本語（上）』の調査結果を挙げる。

1）の『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の語で、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』にある語については 85 語[5]、2）の『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の語の一部が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』にある語については 5 語、3）の『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の語の一部が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』の語の一部と共通している語については 1 語、4）の『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の語で、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』にはないが、語の一部または全部の漢字が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で取り上げられている語については 40 語、5）の 1）から 4）のいずれでもないものについては 71 語あった。

また、1）の 85 語については、表記法 5 の範囲のものが 25 語、表記法 6 の範囲のものが 31 語、表記法 6 より後の範囲のものが 29 語であった。2）の 5 語については、表記法 5 の範囲のものが 2 語、表記法 6 より後の範囲のものが 3 語であった。3）の 1 語については表記法 5 の範囲のものであった。4）の 40 語については、表記法 5 の範囲のものが 21 語、表記

法 6 の範囲のものが 5 語、表記法 6 より後の範囲のものが 14 語であった。

2-2-2　技能別科目文章講読 5 の教科書の調査結果

以下に、『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』の調査結果を挙げる。

1）の『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』の語で、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』にある語については 85 語[6]、2）の『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』の語で、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』にはないが、その語に含まれる全部または一部の漢字が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で学習される語については 41 語あった[7]。

また、1）の 85 語については、表記法 5 の範囲のものが 46 語、表記法 6 の範囲のものが 32 語、表記法 6 より後の範囲のものが 7 語であった。2）の 41 語については、表記法 5 の範囲のものが 26 語、表記法 6 の範囲のものが 12 語、表記法 6 より後の範囲のものが 3 語であった。

3.　分析

『中級日本語（上）』については、2-2-1 の調査結果から、『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』と『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』の語については、『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の 32 頁から 38 頁までの 202 語のうち、131 の語ないし語に含まれる漢字を『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で学習することになる。

『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』のどの段階で学習される語ないし語に含まれる漢字であるかについては、131 語のうち表記法 5 の範囲のものが 49 語、表記法 6 の範囲のものが 45 語、表記法 6 より後の範囲のものが 37 語と減少傾向がみられるが、比較的均等に分かれているとみることができるのではないか。

以上から、『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の 32 頁から 38 頁までの語につ

いては 6 割以上は表記法 5 で使用する教科書で学習することができるということがわかった。また、表記法 5 と同程度の数を表記法 6 でも学習するという結果から、あくまで学習される漢字語彙の点からみただけであるが、『中級日本語（上)』を使用して日本語を学習する学習者が、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』の 1 課から 12 課までの漢字の学習を終えていれば、表記法 6 と合わせて学習を進めるということも可能なのではないかということもいえるだろう。また、『中級日本語漢字練習帳 I 』の 32 頁から 38 頁までで学習される語彙は『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』との対応でみたときに、中級の広範囲にわたっているということもいえるだろう。

次に、『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』については、2-2-2 の調査結果から、『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』と『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』の語については、126 の語ないし語に含まれる漢字を『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』で学習することになる。

『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』のどの段階で学習される語ないし語に含まれる漢字であるかについては、126 語のうち表記法 5 の範囲のものが 72 語、表記法 6 の範囲のものが 44 語、表記法 6 より後の範囲のものが 10 語と表記法 5 の範囲のものが一番多く、表記法 6 より後の範囲のものが一番少なくなっており、それぞれ 30 語前後の差があることから、こちらもあくまで学習される漢字および語の点だけからみていえることではあるが、『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』については、表記法 5 の範囲を学習する学習者が合わせて学習した方がより共通して学習する語が多くなると言えるだろう。

最後に、本稿の調査結果をまとめて、整理した表を提示する。表は表記法 5 の教科書『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版]』で学習する漢字の順（表には課の番号を挙げた）に特化コース 5AP、5BP の教科

表

表記法 5 課	漢字	語	読み方	特化コース 5 課	文章講読 5 課	追加	備考
1	表	表す	あらわす	10			
1	授	授業	じゅぎょう		8,9,10,12		
1	辞	電子辞書	でんししじょ		10	✓	「辞書」はある
1	初	初旬	しょじゅん	5		✓	
1	第、次	第二次	だいにじ	3		✓	「次」は 2 課
1	練	練習	れんしゅう		4		
1	忘	忘れ物	わすれもの		10		
1	覚	覚える	おぼえる		1		
1	組、骨	骨組み	ほねぐみ	9		✓	「骨」は 25 課
1	席	即席	そくせき	7		✓	
1	欠	欠かす	かかす	2		✓	
1	板	板	いた	11			
2	解	理解(する)	りかい（する）		9,11,12		
2	違	違う	ちがう		3,11		
2	違	間違い	まちがい		1	✓	「間違う」はある
2	違	間違える	まちがえる		1	✓	「間違う」はある
2	消	消す	けす		3		
2	消、防	消防服	しょうぼうふく	11		✓	「消防署」はある、「防」は 8 課
2	次	次	つぎ		10		
2	最	最も	もっとも	7			
2	最	最近	さいきん		5		
2	最	最初	さいしょ		3,9		「最初に」はある、「初」は 1 課
2	適	適する	てきする	9		✓	
2	当	当時	とうじ	3	7	✓	
2	当	本当に	ほんとうに		10,12	✓	「本当の」はある
2	選	選ぶ	えらぶ		5		
2	直	直す	なおす		1		
2	直、接	直接	ちょくせつ	2			「直接の」がある、「接」は 12 課
2	数	数	かず		5		
2	数	数える	かぞえる		12		
2	数	数	すう～		6	✓	
3	易、貿	貿易	ぼうえき	6			「貿」は 31 課
3	易、容	容易な	よういな	9		✓	「容」は 8 課
3	単、身、任	単身赴任	たんしんふにん		7	✓	「身」は 5 課、「任」は 20 課
3	難	難しい	むずかしい		9		
3	深	深い	ふかい		12		
3	冷	冷たい	つめたい		1,11		
3	熱、材、断	断熱材	だんねつざい	11		✓	「材」は 11 課、「断」は 20 課
3	熱、性	耐熱性	たいねつせい	11		✓	「性」は 18 課

表　続き

表記法 5 課	漢字	語	読み方	特化コース 5 課	文章講読 5 課	追加	備考
3	困	困る	こまる		2,4,9,11		
3	化	文化	ぶんか		3,12		
3	化	化粧品	けしょうひん	2		✓	「化粧」はある
3	化	食文化圏	しょくぶんかけん	7		✓	
4	象	象徴	しょうちょう	5		✓	
4	由	理由	りゆう		1		
4	島	島	しま	4			
4	島、列	日本列島	にほんれっとう	4		✓	「列島」はある、「列」は 12 課
4	若	若者	わかもの		5	✓	
4	向	向き	むき		5		
4	老	老人	ろうじん	3			
5	紹、介	紹介	しょうかい		12		
5	紹、介	自己紹介(する)	じこしょうかい(する)		4	✓	「紹介する」はある
5	留	留学	りゅうがく		3		
5	的	～的	～てき		9,10,12		「～的(な)」はある
5	結	結びつき	むすびつき	11		✓	
5	婚	離婚	りこん		5	✓	
5	婚、未	未婚	みこん		5	✓	「未」は 20 課
5	夫	工夫	くふう	4		✓	
5	身	身	み	9			
5	身	身につける	みにつける		8	✓	
5	配	心配(する)	しんぱい(する)		6,11		
6	具	文房具	ぶんぼうぐ	2		✓	
6	箱	箱	はこ		2		
6	戸	江戸	えど	7		✓	
6	器	器	うつわ	7	5	✓	
6	庭	家庭	かてい	2			
7	落	見落とす	みおとす		3	✓	
7	並	並ぶ	ならぶ		5		
7	並	並べる	ならべる		2,5		
7	続	続ける	つづける		2		
7	続	～続ける	～つづける		11	✓	「続ける」はある
7	割、役	役割	やくわり		12	✓	「役」は 8 課
7	流	交流	こうりゅう		12		「交」は 8 課
7	流	急流	きゅうりゅう	4		✓	
7	過	過ごす	すごす		9		
7	過	～過ぎる	～すぎる		5	✓	「～過ぎ」はある
7	増	増える	ふえる		5		
7	増	増やす	ふやす		5		
7	破、片	破片	はへん	11			
7	燃	燃やす	もやす	9	4		

表　続き

表記法 5 課	漢字	語	読み方	特化コース 5 課	文章講読 5 課	追加	備考
7	残	残す	のこす		4		
7	残	残る	のこる		4,5		
8	交	交通	こうつう		6		
8	差、込	差し込む	さしこむ	10		✓	「込」は 21 課
8	役	役に立つ	やくにたつ		1		
8	公、園	公園	こうえん		6		
8	園	動物園	どうぶつえん		11	✓	
8	防	防ぐ	ふせぐ	1			
9	札	名札	なふだ		10	✓	
9	精	精神	せいしん		9		「神」は 8 課
9	換	交換	こうかん	6			「交」は 8 課
9	禁	立ち入り禁止	たちいりきんし		10	✓	「禁止」はある
10	受	受ける	うける		11		
10	階	階	かい		3	✓	「～階」はある
10	清	清潔な	せいけつな	9			
10	議	不思議な	ふしぎな	9			
10	綿	木綿	もめん	11			
10	給	給食	きゅうしょく		4	✓	
11	材	食材	しょくざい		5	✓	
11	個	一個	いっこ		2	✓	「～個」はある
11	個	個人的	こじんてき		10	✓	「個人」はある、「的」は 5 課
11	杯	一杯	いっぱい		2	✓	「～杯」はある
11	量	量	りょう	2			
11	包	包む	つつむ	2			
11	巻	巻く	まく	5			
12	成	成り立つ	なりたつ	10		✓	
12	成	成功	せいこう	11		✓	
12	信	信じる	しんじる		8		
12	列	列	れつ		6		
12	更	更に	さらに	7			
12	移	移る	うつる	10			
12	移	移動	いどう	10			
12	接	面接	めんせつ		11		「面」は 9 課
12	候	気候	きこう	5	4		
12	候	天候	てんこう		8		
12	囲	範囲	はんい	10			
12	囲	囲む	かこむ	11			
13	孫	孫	まご	8			
13	築	建築	けんちく	9			
13	経	経験(する)	けいけん(する)		2,3,9		
13	活	生活(する)	せいかつ(する)		2,3,5,9,12		
14	寄	年寄り	としより		5	✓	

表　続き

表記法 5 課	漢字	語	読み方	特化コース 5 課	文章講読 5 課	追加	備考
14	伝	伝わる	つたわる	8	7		
14	凍	冷凍	れいとう	7			「冷」は 3 課
14	暮	暮らし	くらし	11			
14	慣	慣れる	なれる		3		
14	賃	家賃	やちん	6			
14	貯	貯金	ちょきん	6			
15	晴	快晴	かいせい	10			「快」は 9 課
15	遊	遊ぶ	あそぶ		6		
15	連	連休	れんきゅう		8	✓	
15	故	事故	じこ		6		
15	疲	疲れる	つかれる		9		
15	疲	疲れ	つかれ		9	✓	「疲れる」はある
16	格、価	価格	かかく	2			「価」は 21 課
16	様	～様	～さま		11		
16	様	同様	どうよう	7		✓	
16	順	順番	じゅんばん		8		
16	平	平気（な）	へいきな		1	✓	
16	返	返す	かえす		10		
16	返	返事(する)	へんじ（する）		9,10,12		
16	返	返答	へんとう		11	✓	
16	相	相手	あいて	8	1		
17	支、柱	支柱	しちゅう	9		✓	「柱」は 32 課
17	法	方法	ほうほう		4,9		
17	法	～法	～ほう		1	✓	
17	達	発達	はったつ	9			
17	達	友達	ともだち		6,8		
17	確	確かに	たしかに	9			
17	確	正確（な）	せいかく（な）		1		
17	翌	翌日	よくじつ	10			
17	客	乗客	じょうきゃく	8			
17	客	客	きゃく		11		
17	届	届く	とどく	10			
17	財	財産	ざいさん	6			「産」は 22 課
17	費	旅費	りょひ	6		✓	
18	際	国際	こくさい		12	✓	「国際的な」はある
18	関、係	関係	かんけい		12		「係」は 20 課
18	関、係	人間関係	にんげんかんけい		9	✓	「関係する」はある、「係」は 20 課
18	査、調	調査	ちょうさ	3			「調」は 23 課
18	機	機会	きかい		4		
18	職	就職(する)	しゅうしょく（する）		11		
19	笑	笑顔	えがお	8			
19	笑	笑う	わらう		6,8,9		

表　続き

表記法 5 課	漢字	語	読み方	特化コース 5 課	文章講読 5 課	追加	備考
19	夢	夢	ゆめ		7		
19	情	事情	じじょう		10		
19	招	招待(する)	しょうたい(する)		12		
19	然、突	突然	とつぜん	8			
19	再	再び	ふたたび	7			
19	感	感謝	かんしゃ	8		✓	
19	感	感じる	かんじる		9	✓	
20	満	満開	まんかい	5		✓	
20	整	整理	せいり	10			
20	現、在	現在	げんざい	3			「在」は 21 課
20	貨	貨物	かもつ	1			
20	貨	銅貨	どうか	6		✓	
20	貨、硬	硬貨	こうか	6			
20	置	置く	おく		2		
20	担	担当	たんとう		10		「当」は 2 課
21	要	要素	ようそ	9		✓	
21	要、必	必要な	ひつよう(な)		12		
21	必	必ず	かならず		1,2		
21	類、衣	衣類	いるい	2		✓	「衣」は 22 課
21	類、種	種類	しゅるい	1			「種」は 27 課
21	務	事務所	じむしょ		10		
21	守	見守る	みまもる		6	✓	
21	採	採り入れる	とりいれる	9		✓	
22	葉	言葉	ことば		1,4,7,8,9,12		
22	灯、光	蛍光灯	けいこうとう	11		✓	「光」は 28 課
22	加	加工	かこう	11		✓	
22	景、背	背景	はいけい		10,12	✓	「背」は 25 課
22	詰	詰める	つめる	1			
22	詰	缶詰	かんづめ	1			
23	諸	諸国	しょこく	7			
23	副	副食	ふくしょく	7		✓	
23	資	資源	しげん		4,8		
23	調	調べる	しらべる		12		
23	報	報道	ほうどう	10		✓	
23	実	実る	みのる	5			
23	基	基本	きほん	7			
23	基	基づく	もとづく	10		✓	
24	横	横	よこ		12		
25	胸	胸元	むなもと		10	✓	
26	州	本州	ほんしゅう	4		✓	
26	湿	湿度	しつど	9			
26	蒸	蒸し暑い	むしあつい	9			
26	陸	大陸	たいりく	4			
26	富	富む	とむ	7		✓	

表　続き

表記法 5 課	漢字	語	読み方	特化コース 5 課	文章講読 5 課	追加	備考
26	富、豊	豊富な	ほうふな	7			
26	豊	豊かな	ゆたかな	7	4		
26	積、極	積極的な	せっきょくてきな	8			「極」は 28 課、「的」は 5 課
26	泥	泥	どろ	9			
27	植	植える	うえる	5			
27	植	栢植（人名）	つげ（人名）		10	✓	
27	虫、害	害虫	がいちゅう	1		✓	「害」は 32 課
27	散	散る	ちる	5			
27	香	香り	かおり	7			
27	域	地域	ちいき	9			
28	陽	太陽	たいよう	9			「太」は 3 課
28	光、観	観光	かんこう	8			
28	逃	逃げる	にげる	9			
28	異	異なる	ことなる	7			
28	測	予測	よそく	10			「予」は 1 課
28	恐	恐れ	おそれ	9			
28	圧	低気圧	ていきあつ	10		✓	「気圧」はある
28	怖	怖い	こわい		8		
28	波	波	なみ		8		
29	展	発展	はってん	9			
29	原	原始	げんし	7		✓	
29	救	救急車	きゅうきゅうしゃ		3	✓	
29	識	知識	ちしき	10			
29	追	追う	おう		9		
30	優	優れる	すぐれる	11			「優れた」がある
30	仲	仲	なか		6		
31	鉱	鉱物質	こうぶつしつ	9		✓	「鉱物」はある
31	標	目標	もくひょう	9			
31	農	農薬	のうやく	1			
31	努	努力	どりょく	4			
31	純	単純な	たんじゅんな	9			「単」は 3 課
31	造	構造	こうぞう		12		「構」は 23 課
31	造	木造	もくぞう	9		✓	
31	造	造り	つくり		12	✓	「造る」はある
31	般	一般的	いっぱんてき	7		✓	「一般に、一般の」はある、「的」は 5 課
32	柱	柱	はしら	9			
32	濃	濃い	こい	5			
32	済	済む	すむ	2			
32	済	経済	けいざい	7			「経」は 13 課
32	軍	軍隊	ぐんたい	3			
32	放	放送	ほうそう		9		
32	互	互いに	たがいに	8			

書『中級日本語（上）』の漢字教材『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の 32 頁から 38 頁までおよび文章講読 5 の教科書『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』で学習される語（および読み方）とその語が学習される課を提示した。『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で学習する語ではないが、その語に『留学生のための漢字の教科書中級 700 改訂版』で学習する漢字が含まれる語については、追加の列にチェックを入れた。その他、語の一部が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で学習される、または共通している語について、また、漢字二字以上の語で、複数の漢字が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で学習されるものはそれらが学習される課を備考欄に提示した。この表を用いれば、それぞれの教科書のどの課でどの語が学習されるか、また『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』のどの漢字の学習の際に、追加してどの語を提示すればよいかがわかる。なお、『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の 32 頁から 38 頁までと『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』で共通して学習される語は「当時」、「器（うつわ）」、「燃やす」、「気候」、「伝わる」、「相手」、「豊かな」の 7 語であり、このうち「当時」と「器（うつわ）」が『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』では学習されない語であるので、追加で教える語になる。

4. おわりに

本稿では、一つの総合教科書に沿って日本語学習を進める形ではなく、各技能でそれぞれの教科書を用いて日本語学習を進める、または総合教科書を用いた科目と技能別の科目を合わせて学習する場合に、漢字および語の点から各教材で共通して学習される語がどのぐらいあるかということを明らかにすることを目的に、漢字教材『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』所収の語と総合教科書『中級日本語（上）』の漢字教材『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の 32 頁から 38 頁までおよび読解教材『テーマ別

中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』の漢字語彙の調査を行った。その結果、『中級日本語（上）漢字練習帳Ⅰ』の 32 頁から 38 頁までの 202 語のうち、131 の語ないし語に含まれる漢字を『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で学習できること、『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』については、126 の語ないし語に含まれる漢字を『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』で学習できることが明らかになった。

また、この結果について慶應義塾大学別科・日本語研修課程の表記法 5 および表記法 6 で学習される範囲からみたときに、『中級日本語漢字練習帳Ⅰ)』の 32 頁から 38 頁までと並行して学習を進める場合、表記法 5 と表記法 6 で比較的同程度の漢字語彙が共通して学習されること、『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』と並行して学習を進める場合は表記法 5 の方が共通して学習される語が多いことも指摘した。

今後は本稿で得られた結果を、各授業に還元するとともに、本稿では扱えなかった他の技能別科目の教科書等についても同様に調査を行い、より良い日本語教育、日本語学習につなげていきたい。

謝辞

本稿執筆に際し、慶應義塾大学日本語・日本文化教育センター村田年先生に数多くのご助言をいただきました。感謝申し上げます。

注

1 特化コースの学習段階 5 は『中級日本語（上)』の第 1 課から 11 課までが学習範囲である。

2 調査にあたっては、表記法 5 の語については、教科書巻末の語彙索引を使用した。したがって、例えば「最初に」という語は、「初」は 1 課で学習する漢字であるが、2 課で学習する漢字である「最」の語の部分に出てくるため、2 課の語とした。また、スル動詞「『○○』する」と「『○○』」は同じものとして調査を行った。これらは文章講読 5 の教科書の調査についても同様である。

3 表記法 5 は『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』の 1 課から 12 課まで学習する。表記法 6 は表記法 5 と同じ教科書で学習し、13 課から 25 課まで学習する。

4 2）3）はその語が出てくる課、4）は漢字二字以上の語で、それらの字が 2 つの範囲にまたがるものの場合、前の方で学習する語として数えた。後者は文章講読 5 の教科書の調査の 2）

についても同様である。

5 『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』の「直接」、『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』の「直接の」、同「優れる」と「優れた」は 1）とした。

6 『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』の「最初」と『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』の「最初に」、同「～的」と「～的な」は 1）とした。

7 『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』の「間違い」「間違える」と『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』の「間違う」、同「本当に」と「本当の」、同「造り」と「造る」は 2）とした。また、『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』の「～続ける」については、「続ける」と別語とし、2）とした。

参考文献

池田幸弘（2020）「漢字教材の比較調査（4）」『JSL 漢字学習研究会誌』第 12 号、p.95　＊研究発表　要旨

調査対象教材

佐藤尚子・佐々木仁子（2017）『留学生のための漢字の教科書中級 700［改訂版］』国書刊行会

東京外国語大学留学生日本語教育センター編著（2014）『中級日本語漢字練習帳Ⅰ』［オンデマンド版］凡人社

松田浩志・亀田美保（2011）『テーマ別中級までに学ぶ日本語初中級ブリッジ教材』研究社

調査時に使用した資料

金田一京助・佐伯梅友・大石初太郎・野村雅昭・木村義之編（2022）『新選国語辞典第十版』小学館